

# 報告

## 平成 15 年度東北支部会報告

安藤享平（郡山市ふれあい科学館）

平成 15 年 11 月 22 日（土）、23 日（日）に、仙台市天文台を会場に平成 15 年度の天文教育普及研究会東北支部会を仙台市教育委員会の後援で開催いたしました。東北支部会の開催は 5 年ぶりということで、どれだけ参加いただけるか心配でもありましたが、当日は晴天に恵まれ、会員・会員外の 31 名もの参加者（図 1）と 11 件の発表があり盛会となりました。

初日は、まず仙台市天文台の小石川正弘氏より講演をいただきました（図 2）。火星大接近が話題となった年でもありましたので、火星の話題を中心に小石川さんの長く深い経験を紹介くださいました。火星に関する話題では、小石川さんのこれまでのスケッチの数々をご紹介いただき、一同その微細な描写に感嘆の声があがりました。ですが、今回の大接近では Web カメラでの画像を活用されたそうです。小石川さんの言葉をお借りすると、「最近スケッチと Web カメラの画像が似てきた」とのことです。Web カメラによる画像にも会場から大きなため息が出ました。（翌朝、小石川さんがパソコンをお持ちになり、Web カメラの画像処理を実演いただきました。）

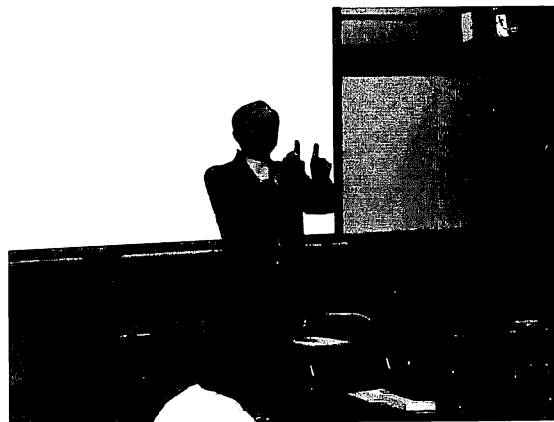


図 2 小石川正弘氏の講演のようす

また、仙台市天文台の移転についてもご紹介いただきました。導入を決めた PFI（民間資本を使った社会資本整備）方式は、コスト削減、公的支出の平準化が図れること、また 30 年計画で実施することにより毎年一定額の支出が可能となり予算交渉に伴う苦勞も解消されるとのことです。ですがそれと同時に、「民間」としていかに魅力ある施設としていくかの重要性についても強調され、新天文台の目指す将来像を熱く語られました。

この後、2 件の発表もいただきました。

- ・「天文現象の自作視聴覚教材化について」殿村泰弘氏
- ・「Web カメラを使用した天文教育教材の開発」斉藤正晴氏

殿村さんは、天体現象のビデオを教材として作成された事例について発表くださいました。わかりやすいナレーションや編集を駆使されたビデオを拝見しました。

斉藤さんは、Web カメラを活用しての教材づくりということで、Web カメラの小型な利点を使つての教材について紹介いただきました。

初日夜は懇親会を行い、多くの方が



図 1 支部会参加のみなさん

参加して親交を深めました。一次会終了後もあちこちのグループで二次会に出かけられるなど、長い夜を過ごされたのではないかと思います。

続く 2 日目は主に実践報告や発表を行いました。二日酔い？を感じさせない、熱い発表と議論が繰り広げられました。

- ・「流星痕同時観測キャンペーン事務局の 5 年間のあゆみ、および日本における流星痕観測の成果」比嘉義裕氏
- ・「流星電波観測を用いた昼間の天文教育」小川宏氏

比嘉さんはしし座流星群を中心とした流星痕同時観測の成果について発表されました。

「社会参加型サイエンス」として、多くのアマチュアなどの自主的参加による優れた観測データが最新科学に活用できることを紹介いただきました。

小川さんは、流星電波観測を天文教育として実施する具体的な方法と意義を紹介いただきました。機材も安価に購入できることや特に東北地方はノイズが少ないというメリットがあるので、是非多くの学校などで実践して欲しいという熱いメッセージがありました。

- ・「小惑星の物理観測について」浜野和弘氏  
浜野和さんは、小惑星による食観測による立体形状や自転軸などの解明について報告されました。なお浜野和さんは初日に参加後福島に戻り観測をされ、翌日再び発表に仙台にお越しになられました。
- ・「宮城教育大学インターネット天文台システムの概要」松下真人氏
- ・「宮城教育大学インターネット天文台の活用事例」千島拓朗氏（代理発表）
- ・「インターネット天文台中継システムを利用した天文教育プログラムの開発」林美香氏  
宮城教育大学に設置された天体望遠鏡の活用について 3 件連続での事例発表をいただきました。インターネット経由での操作が可能

となったシステムの概要を松下さんから、学校とつないでの「昼間の星を観察する授業」の実践例を千島さんから、インド日本人学校など海外との中継を Yahoo!メッセンジャーなどを活用して遠隔操作を行った例を林さんから紹介いただきました。それぞれパワーあふれる学生の皆さんの発表に質疑も熱くなりました。

- ・「天文ボランティア『うちゅうせん』の星空ライブ」鈴木克氏

仙台市天文台のボランティアグループが学校や子供会に出向いて行う観望会や、繁華街で行う「星空ライブ」の実施状況について紹介いただきました。

- ・「高校生天体観測ネットワーク (Astro-HS) の 6 年間」小田桐茂良氏

小田桐さんからは、これまでの Astro-HS の活動がジュニアセッションなどの多くの成果を生んできたこと、敷居をあまり高くせず多くの参加をこれからも呼びかけていきたいという展望が紹介されました。

- ・「100 円ショップの老眼鏡で天体望遠鏡をつくろう」伊藤芳春氏

伊藤さんからは、安価に天体望遠鏡工作を行う手段としての実験が紹介されました。試行錯誤された伊藤さん作成の天体望遠鏡をみなさん楽しそうに見比べていました。

会の最後には意見交換も行い、今後も定期的に支部会を開催することで東北地方の天文教育関係者の交流を深めていくことなどを確認いたしました。

最後になりましたが、今回は仙台市天文台の小石川正弘さんをはじめ、スタッフのみなさまの多大なるご協力のおかげで無事開催することができ、大変感謝いたしております。また世話人を勤めていただいた伊藤芳春さん、座長を引き受けていただいた小田桐茂良さんなど、多くの皆さまに御礼を申し上げたいと思います。